

NicoKids
ENGLISH

絶対失敗しない

英会話スクールを 選ぶ7つのポイント

15年の運営経験からすべて話します

NicoKids
ENGLISH

高1の夏

「大手〇〇英会話、30万円高いけど、絶対話せるようになるから！」

「今まで何でも諦めてきたけど、今回は死んでも続けるから！」

と、両親を必死に説得しました。

そして、念願の1回目のレッスン、

「え、この外国人の先生、何言ってるのか全然わかんない・・・きまずう」

それから、もう2度とそのスクールに行くことはなく、、、

30万円をムダにしてしまいました。。。

初めまして。

“必ず1ヶ月で英語を大好きになる”

レッスンが大好評を得ている、

Nico Kids English オーナー、Junpeiです。



この本をダウンロードしていただき、本当にありがとうございます。

そして、おめでとうございます。

この本を読んでいただくと、冒頭での自分自身の経験のように(泣)、

大きなお金をムダにしないでしよう。

当時、実際に僕が大手英会話スクールに通い、

30万円もムダにしてしまった経験を元に

現在はスクールを経営しているので、

業界人という立場から、

スクール経営者が隠したい、

“7つのこども英会話スクール選ぶコツ”

をお伝えさせていただきます。

これから話すことはスクール経営者にとって、

あまり耳触りのいい話ではありません、実際に

「そんなことを言われると困る」

という、スクール経営者がたくさんいます。

そして、誹謗中傷等もあります。

よく人に変わってると言われますが、

さすがの僕も好き好んで、

そんな火の中に飛び込むほど好きではありません（苦笑）

じゃ、

「なんで、こんなことを言うの？」

理由は1つ、

自分がしたようなイヤな経験をして欲しくない。

僕は高校生2年生の頃、当時17才。

なぜか、「英語を学ぼう！」

と、急に思い立ち、ある大手英会話スクールの

体験レッスンを受けました。

半年のレッスンで数30万円、

かなりの金額に開いた口が塞がりませんでした、

営業さんの必死の粘りに負けました（笑）

その後、両親を必死に説得。

泣く泣く了承し、通い始めました！

ただ、2,3回通って・・・

いや、何か違う・・・

受付の営業さんの人は入会した途端に冷たい（苦笑）

クラスのレベルもバラバラ、

ただテキストを読み上げる、外国人講師のヤル気のなさ
（苦笑）

友達もできなくて、とにかく通うのが嫌で、

2,3回で行かなくなってしまいました。

そんな経験をして欲しくない。

だから、自分自身が14年間運営をしてきてわかる、

良い英会話スクール、

悪い英会話スクール、

を見分ける、7つのポイントをお伝えします。

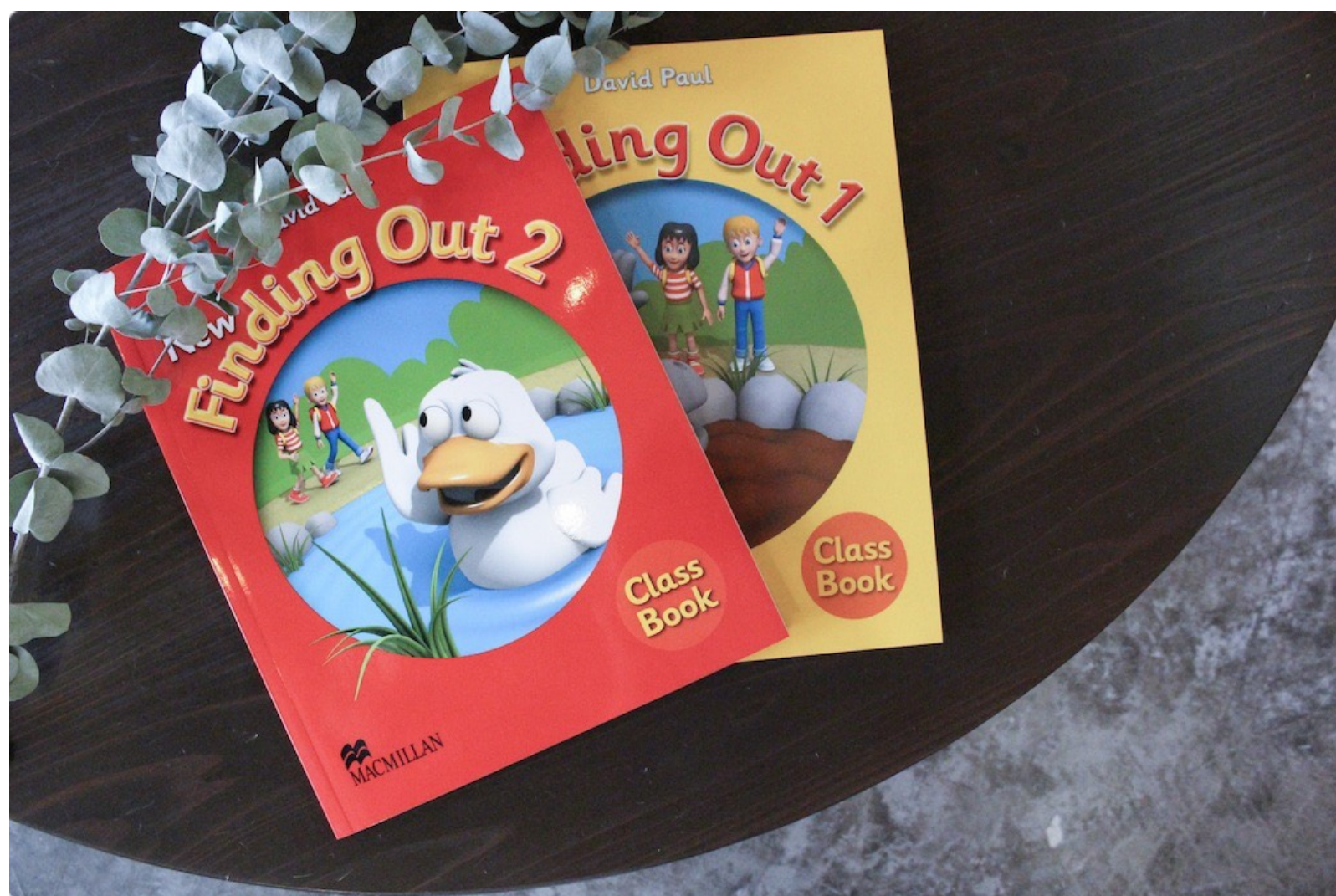
何を基準に選んだらいいかわからないと思います、

そのため、色々な英会話スクールで体験レッスンを受けて、

この7つのポイントを基準にあなたとお子さまに

ピッタリのスクールを選んでいただければ幸いです。

1. CD等の音声教材があり、有効に活用されているか



正直に言うと、週1回のレッスンだけで英語を見につけるのはスゴく時間がかかります。

英語を取得するのに必要とされているのは、

なんと、3,000時間。

だから、家や車でいつでも楽しみながらできる音声教材は必須です。

保護者が簡単にできる家庭学習をサポートするシステムがあるか

もし、“楽しければそれでいい!”, というのなら話は別ですが

“本当に使える英語”

を身に付けたいのでしたら、

家庭で楽しくできる家庭学習のシステムがあるスクールを選ぶべきです。

2.高額な教材の販売しない



入会時に何十万円もする教材を支払わなければいけない
スクールや通信教材がありますよね。

もし、その教材がスゴく良かったとしても、使いこなせ
なかったり、あなたのお子様が飽きてしまうかも知れま
せん。

あまり大きな声で言えませんが、実は高額な教材を支払ったほうが継続率がいいんです。

ピアノもそうです。あなたの周りに小さい頃、ピアノ教室に辞めたいのに無理矢理通わされていた、というお友達はいませんか？

これはまさに高いお金を出してピアノを買ったからこそ、辞めさせたくないんですね。

これではママと子供に負担がかかってしまい、結局英語嫌い・ピアノ嫌いにしてしまいます。

ですので、「数十万円なんてよゆうー」という方以外は、

高額な教材を販売するスクールは避けることをオススメします。

ただ、それが有効に使われているかどうか、とても大事です。

あなは、何かの家庭教材を購入して、使わなくなった経験はありませんか？

僕は何度もあります。笑

そう、だから、教材やシステムを販売して終わりではなくて、講師が宿題として出しているか、有効に使われているか、などを確認すると良いと思います。

しっかり効果が出ていれば、高額でもその価値がある場合もあります。

3. 参観日があるかどうか



やっぱり、保護者としてお子様が英語を喋る姿、成長を見てみたいですね。

それに参観日を開催しているということは、
そのスクールのレッスンに対しての自信の表れとも言えます。

イベントがあるかどうか

異文化に触れる、英語実際に使うチャンス。

さらに講師とレッスン以外で遊ぶことによって、もっと仲良しになります。

そうすればレッスンへの取り組み姿勢が格段に違ってきます。

あなたがお子様を通わせたいと思っているスクールで

クリスマスやハロウィンのイベントが開催されているかチェックしてみてください。

4. フォニックスを教えているか



フォニックスは英語の読み方や発音方法の規則性のことです。

例外もありますが、このスキルを身につければ

『見れば読める』、

また

『聞けば書ける』ようになります。

中学で読み書きが本格的に入ってきてても正しい発音で読めなかったり、

スペルで迷ったり、

ということに苦しむ必要はありません。

当スクールでは、最も力を入れて

教えているスキルの一つです。

最近では、学校でもフォニックスは教えられるようになりました。

ただ、学校のような大人数の中では、学ぶのは難しいです。

そのため、英会話スクールのような場所で専門的に学ぶことが非常に大切です。

5. 講師は全員ネイティブです！ とうたっていないか



こううたっている、英会話スクールは要注意です。

ネイティブ＝集客できる

と安易に考えているスクールです。

さらに、講師などのトレーニングが行われなれていない可能性があります。

ネイティブだから英語を教えるのが上手、ということはありません。

僕たち、日本語のネイティブですが、

日本語の教え方、どうでしょうか？

全くわからないですよ。笑

結局専門的に学んでいるかどうかがかギになります。

6. クラスの人数は少人数か



中学校の英語の授業を思い出してください。

「はい、答え分かる人ー」

と、先生が周りを見渡し出したときに、

必死で下を向いて、当てられないことを、

何度も願いませんでしたか？ 笑

僕たちが経験したように、大人数の前で話すのって、とにかく緊張します。

さらに、クラスの人数が多いと、子供たち一人ひとりに十分な時間を割くことができなくなります。

ゲームやアクティビティを行っていても、大人数だと周りが言っていることをリピートしているだけ、になりがちです。

そして、幼稚園や小学校低学年の小さなお子さまだと、他のこと遊んだり、注意が散漫になったり、時間を無駄にしてしまう可能性が高いです

そのため、4人～6人くらいの少人数制のスクールを選ぶことをおすすめします。

7. 英語を教えている目的は何なのか？



僕たちのスクール、Nico Kids Englishの場合は、

「英語で世界が変わる」

ということを目的にしています。

英語ができれば、学校のテストや、就職でも有利です。

ただ、そこだけじゃない。

英語ができれば、

人との出会いが無限大になります。

僕は、

「人は人との出会いで変わる」

と信じています。

日本語だと話す事ができるのは、

せいぜい、1億人程度。

ただ、世界の英語人口は15億人です。

15億人の人と出会える可能性、

お子さまの無限の可能性を引き出せるチャンスが広がります。

僕は元バンドマンで、将来の希望ややりたいことが全くありませんでした。

でも、単身アメリカに行って、英語を学び、

アメリカで出会った当時の彼女と帰国し、

24歳でNico Kids Englishと一緒に立ち上げました。

本当に今、自分のやりたいことができています。

でも、彼女と出会わなかったら、自分の可能性は全く開花せず、

嫌な仕事や、自分らしくない生き方に、

毎日押しつぶされていたかも知れません。

そういう意味で、あなたが行こうとしている、英会話スクールが、

「何を目的で英語を教えているか」

そして、それがあなたの目的とあっているか？

それをしっかりを見極める事が大事です。

実際に体験レッスンに参加してピッタリの講師を見つけるべきでしょう。

以上、7つお伝えしましたが、いかがでしたか？

繰り返しになりますが、実際に体験レッスンに参加してみないと分かりません。

これを基準に色々なスクールの体験レッスンに参加して、

あなたとお子さまが1番気に入るスクールを選んでくださいね。

最後まで読んでいただき、ありがとうございました！

Nico Kids English

Junpei